

大学生と農家を繋ぐ八王子農業推進プロジェクト

Hachioji Agriculture Promotion Project Connecting University Students and Farmers

チーム：一次産業
大塚勇輝, 角谷悠利, 富森杏, 三澤和郎, 渡邊透
指導教員 前田幸男¹⁾

創価大学 法学部 法律学科 前田ゼミナール

大学生と農家をマッチングし、農作業支援や地域づくりに参加する機会を提供する。ボランティア活動を通じて単位交換が可能で、学生は農業の重要性を理解し、農家は担い手不足を解消する。この取組により、地域の活性化と持続可能な発展を実現する。

キーワード：農業, 学生, ボランティア, 単位互換, 大学間交流

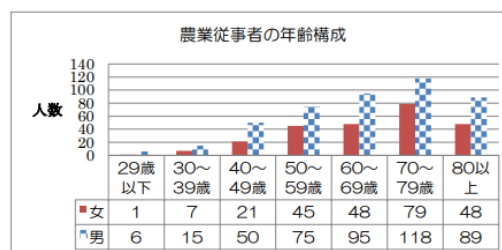
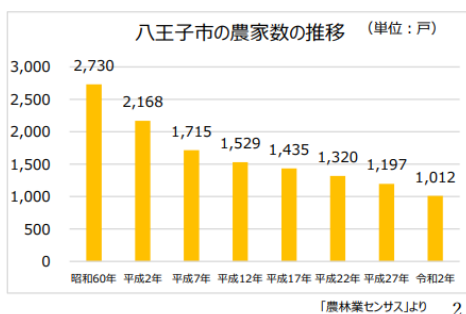
1. はじめに

少子高齢化や農業関心への低下があり、農家の担い手が不足している。農業従事者の減少は、国内の安定した食糧供給において大きな問題となる。

本事業は、農家の担い手不足問題に対応しつつ、学生に農業への理解を深めてもらうことで、将来的な地域農業の後継者育成を目指すものである。また、八王子市内の大学間の交流を促進し、農村コミュニティと学生のつながりを強化する。

2. 現状の課題と問題深刻性

現在日本では、少子高齢化や農業に対する関心が低下したことを背景に、若い世代を中心に農業の就業者数が減少しており、八王子市でも同様の現状がある。



これらの表から八王子市において、農家の数が減少していることと若い世代の農業従事者が極端に少ないことがわかる。

農家数が減少することに加え、後継者が不足することは将来的に日本の食糧安全保障や耕作放棄地の増加という点で重要な問題となる。耕作放棄地の増加は、災害リスクの増加や、生態系への悪影響がある。耕作放棄地は年々農家の減少とともに増加しており、喫緊の課題といえる。

そこで我々は、農家数の減少と農業関心の低下について、若年層に対するアプローチの不足が課題であると考えた。平成27年度農家アンケートでは、後継者が農業従事している、またはいずれ農業を継ぐと回答した農家の割合は全体の27.7%で、前回のアンケート結果よりその割合は低下している。また現状として、東京農業アカデミーと呼ばれる大規模な研修機関を設置しているが、若い世代の農業従事者数は減少しており、アプローチとしては不足感がある。一方で、10万人以上の学生が住む学園都市八王子で若い世代に向けた農業プロ

グラムは担い手不足の現状をよくできる可能性がある」と捉えた。

3. 提案

これらの現状を踏まえ、農業に興味がある八王子市内の大学生と人手不足に悩む地域農家をつなぐボランティア形式のプログラムを提案する。学生は農家のサポートを行い、農作業を通じて地域農業に貢献しながら実践的な技術を学ぶ。地域農業を支えるためのボランティア活動を含むことで、幅広い支援を可能にし、学生が地域と協働する経験を提供する。

我々は当プログラム実現のために以下の3点を市に提案する。

① 大学生と農家のマッチング事業

日本グラウンドワーク協会の「大学生サークルと農村のマッチング事業」を参考として、八王子市内の大学生と農家をお見合い形式でマッチングし、農作業支援や地域づくりに参加する機会を提供するものである。オンラインマッチングや説明会での出会いを活用し、学生の興味やスキル、農家のニーズに応じた多様な活動（農作業支援、イベント運営、収穫体験など）を実施する。

② 大学との連携

大学の単位交換制度を活用し、学生がボランティア活動を通じて農業体験を行い、単位を取得できるようにする。農業や地域資源の現地学習と並行して、学生が農村の課題に関するワークショップやレポート提出に取り組むことで、農家支援の意義を振り返り、学びに結びつける。

③ 地域イベントの開催

就活セミナーのように、農家と学生が集まる「ボランティア説明会」を定期的を開催し、マッチングを促進する。

4. 本事業の有効性と期待される効果

本事業は、農家と学生のマッチングを通じて、多様な主体が相互に連携し、地域全体の活性化に貢献することを目的とする。

農家にとっては、人手不足の解消に加え、若者との交流を通じて農業の楽しさや重要性を伝え、後継者育成へと繋げる機会となる。一方、学生は、実際の農業現場に触れることで、食の大切さや地域社会への貢献を実感し、将来のキャリアを考える上で貴重な経験を得ることができる。また、大学間の交流促進も期待でき、八王子市の大学間連携を強化し、地域全体の活性化に寄与することが期待される。

本事業がもたらす効果をまとめると、以下の3点が挙げられる。

① 学生：農業や地域に対する理解を深め、社会貢献意識を高める。

② 農家：人手不足の解消、若者との交流による新たな視点の獲得。

③ 地域：地域の活性化、持続可能な農業の実現。これらの効果を通じて、本事業は、八王子市の学生と農家と地域の連携を強化し、持続可能な地域社会の実現に貢献すると考えられる。

5. まとめ

本提案を通して、八王子市内の大学生と地域農家をボランティア形式でマッチングし、地域農業の持続的な担い手育成を目指す。この施策を通して地域全体の活性化や持続可能な農業の実現にも寄与していく。

6. 参考文献

JA 八王子 (2021) 【令和4年度～令和6年度】JA 八王子3ヵ年計画・農業振興計画 『組合員・JA・地域が紡ぐ 知恵と創造と協同の輪』の設定について、2023年10月31日最終閲覧

八王子市 (2015) 八王子農業の現状と課題、2023年10月31日最終閲覧

一般財団法人日本グラウンドワーク (2024) 協会の目的と応援内容、2023年10月31日最終閲覧